

次期「基本構想（案）」（概要）

1. 策定の趣旨

本市では、まちの将来像や方向性を描く総合基本計画（基本構想・基本計画・実施計画）がいずれも令和7年度末に計画終期を迎えることから、令和5年度より次期「総合基本計画」の策定に着手。

全国的な計画策定の簡素化・集約化の流れの中、各計画の意義を端的かつ明確となるよう整理。

最上位計画となる「基本構想」は、まちの基本理念として、激化する都市間競争や社会変容の中で、先人から引き継ぎ将来に紡いでいくべきまちの魅力や未来に向けた方向性を端的なメッセージとして策定することとした。



2. 次期「基本構想（案）」の作成までの取り組み

(1) 2023 年度

- ・ホームページや SNS 等により、将来を担う若年層を中心に広く発信しながら、アンケートやワークショップなどを通じて、多様な市民等より「神戸のまちやひとの魅力」や「未来の神戸に紡ぐ価値観」といった様々な意見を収集。
- ・寄せられた様々な声について、テキストマイニングを活用しながら集計・分析し、端的に次期「基本構想（素案）」として取りまとめた。

(2) 2024 年度

- ・神戸市長より、神戸市総合基本計画審議会に、次期「基本構想（素案）」を諮問。本審議会において、これまでの2回の審議を通じ、今回の意見提出手続の対象となる次期「基本構想（案）」を作成。

【参考】2023 年度に収集した主な意見（詳細は別紙参照）

“まち”の魅力

- ・海、山等の豊かな自然が多い
- ・自然の豊かさと都市の賑やかさのバランスが良い
- ・人工的ではなく本物の自然が身近にある
- ・異国文化と融合した街並みや「みなと」の風景
- ・開港以来、外国人を受け入れてきた多様性
- ・震災の教訓を次代に継承している
- ・住みやすい、交通の便が良い、身近で色々楽しめる

“ひと”の魅力

- ・優しい、親切、フレンドリー、下町の人情味がある
- ・多様性に寛容
- ・県外から来た人も受け入れる
- ・震災を乗り越えた強さと助け合いの精神がある
- ・どんな困難でも諦めない
- ・まちに誇りを持つ人が多い
- ・神戸愛が強く、自分たちの街を大切にしている
- ・笑顔で挨拶してくれる、個性的で元気な人が多い

“未来の神戸”

- ・子ども、若者、高齢者等の全世代に優しく、住みやすい
- ・海・山や「みなと」より生まれた旧居留地等の多様な文化が共存する街並みを残す
- ・世界中から若者が集まり、失敗を恐れずチャレンジできる
- ・多様な文化交流ができる
- ・神戸空港の国際化や三宮の再整備によるまちの活性化
- ・神戸に住み続けられる仕事・職場環境の改善

3. 次期「基本構想（案）」の構成

- ・神戸ならではの不変の価値観として、計画終期を定めず、以下の2段構成で端的なメッセージとして取りまとめた。

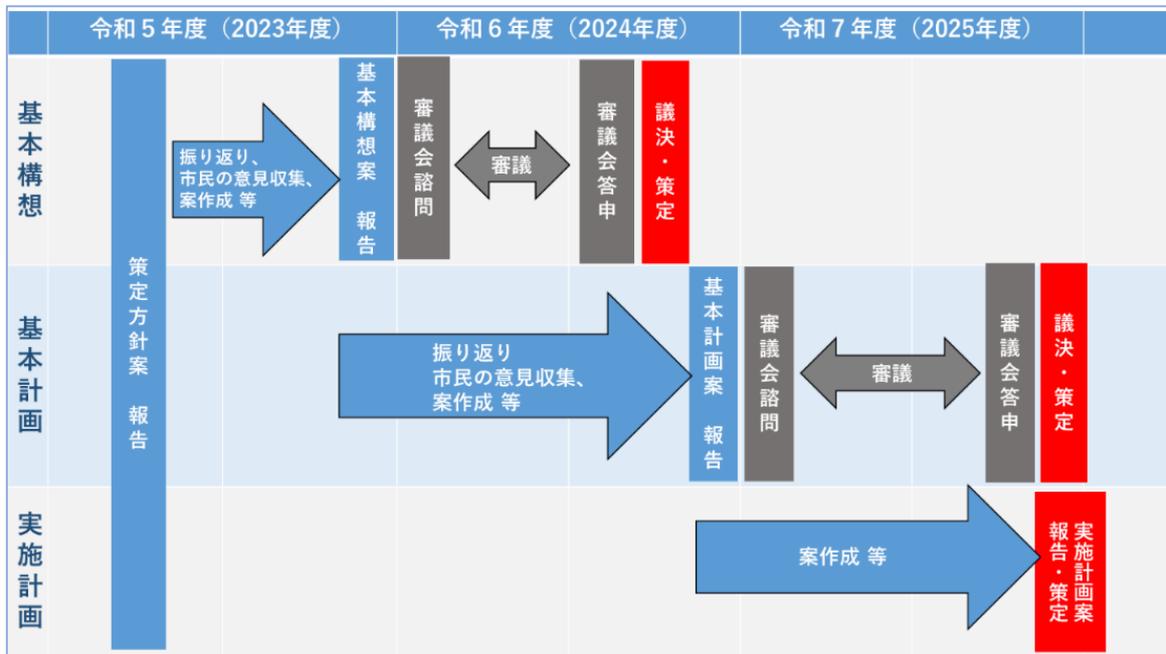
【前段】先人から紡いできた神戸ならではの「まちやひとの魅力」

【後段】これらを活かしながら目指していく「未来のまちにむけた方向性」

4. 今後の予定

- 令和6年6月 次期「基本構想（案）」にかかるパブリックコメント（7月21日まで）
- 8月 第3回審議会：パブリックコメントを踏まえた審議・答申案の議論
- 12月 議決・策定

【参考】 次期「総合基本計画」策定スケジュール



【参考】 関連するホームページ

①次期総合基本計画策定プロジェクト

<https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/sougoukihonkeikaku.html>

②神戸市総合基本計画審議会

<https://www.city.kobe.lg.jp/a47946/shise/kekaku/masterplan/sougoukeikaku.html>